



2023-2024 年度
5月号
NO. 414

強調月間

LT
ユース

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO HIGASHI

CHARTERED 1988

〒135-0016 江東区東陽 2-2-20 東京 YMCA 東陽町コミュニティセンター内 TEL03-3615-5565

国際会長：ウルリック・ラウリドセン(デンマーク) 主題「輝かそう あなたの光を」

アジア太平洋地域会長：利根川恵子(川越) 主題「変革のための光となろう」

東日本区理事：山田公平(宇都宮)

主題：「未来のために今、学びと気づきを！ 未来のために、自信を育み真の喜びに出会う！」

関東東部部長：長尾昌男(千葉ウエスト) 主題：「親睦を糧に、クラブライフの充実」

東京ひがしクラブ会長：金丸満雄 主題「円やかに！クラブライフを楽しもう！！」

5月例会

と き 2024 年5月9日(木)
18:30~20:30

ところ 東陽町センターYMCA ホール
受付：野本多美子
司会：野澤一弘

★プログラム

開会点鐘	会長 金丸満雄
ワイズソング/ワイズの信条	
開会挨拶	金丸満雄
ゲスト紹介	
食前の感謝	
今月の誕生日・結婚記念日	
ゲストスピーチ	
「ソーラーカー面白話」	
飯田 茂氏	
(チームSTEP 江東代表&ドライバー)	
スマイル/各種報告	
閉会点鐘	会長 金丸満雄

✚ 今月の聖句 ✚

『自分は何か知っていると思う人がいたら、その人は、知らねばならぬことをまだ知らないのです。』

—コリントの使徒への手紙 8章2節—

☆☆ 関東東部 EMC を考える集い! ☆☆

4月6日(土)、2023-2024 年度「関東東部 EMC を考える集い」が、東京 YMCA 東陽町センターにてリアル開催された。部内8クラブより35名が参加。そして、山田公平理事、山口直樹副書記、あずさ部長谷川あや子さんがオブザーバー参加された。13時30分開会。長尾部長より関東東部の EMC を考える会の趣旨と現況の開会挨拶のあと、大澤会員増強事業主査より関東東部における EMC の現状が語られ、茨城クラブと東京ベイサイドクラブが今期をもって解散する残念な報告がされた。続いて、各クラブ代表者より EMC の取り組みが発表され、各クラブの様々な活動が報告された。今回「新入会員の入会の動機と感想」をメインプログラムに、小林恵子さん(所沢)、滝沢圭太さん(江東)、田島和子さん(ひがし)、池田信成さん(千葉)の4氏より入会の動機として、「姉に誘われた。他クラブの方からワイズの楽しさを伺い入会のきっかけとなった。」「元リーダー。子供のころからワイズが身近にあった。」「第2の人生としてワイズライフを選んだ」「イベントのお手伝いを通じて誘われ入会した。若い時にボーイスカウトのリーダーをした経験を活かし活動したい」等々発表された。続いて6つのグループに分かれ、4氏の発表を参考に EMC 活動への意見交換が行われた。“集い”の最後に、グループ代表者よりのまとめ、そして全体の講評と山田公平理事の言葉に続き、山本次期部長の閉会挨拶で終了した。



ひがし発表者：田島和子さん

4月例会

出席者	10名	×1件	7名
ひがし出席数	9名	ゲスト	1名
在籍数	13名		
(広義会員3名)			

ひがし会員出席率 90%

スマイル

2023-2024 年度
4月6,500円

累計 38,000円

2023-2024 年度役員

会長	金丸満雄
副会長	鮎澤正和
書記	高野真治
会計	野本多美子
担当主事	沖 利柯



担当主事 沖 利柯



関東東部 EMC を考える集い 2024.4.6

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

◆◇4月例会報告◆◇

千代一郎

4月例会は4月11日(木)18時30分より東陽町センターで開かれた。金丸会長の開会挨拶のあと、今回の講師として招いた小樽直明氏(千代の高校時代の友人)のゲスト紹介の後、小樽氏によるゲストスピーチ「ポンプにまつわるよもやま話ー大型ポンプの金属疲労」についてお話を伺いました。卓話の主な内容は次の通りです。

(1) 大型ポンプの産業社会的地位付けー大型ポンプの消費電力量は日本全体の4%を占めている。大型ポンプの分類は渦巻き式、斜流式、軸流式の3形式に大別される。これらのポンプは羽根車の回転で生み出す遠心力や揚力を利用することによって通過する液体に圧力と運動エネルギーを与える機能を持っている。大型ポンプの主要用途は上下水道、発電プラント、海水淡水化プラント、灌漑施設、洪水対策、脱炭素火力プラント、ロケット燃料(液体水素)供給等があり、社会インフラの心臓部をなしている。

(2) 大型ポンプの破損事例についてー大型ポンプの破損の原因の70%は金属疲労と言われている。その破損事例は次の通りである。(イ) 運転状況、機器状況を把握し、当該ポンプの損傷を確認した。(ロ) 破損部材調査(破面、材料特性)の結果、疲労破壊が確認された。(ハ) 振動数値解析、模型による再現・検証実験などを実施し、実際の振動荷重、破損過程を特定した。(ニ) この調査結果を踏まえて、制作方法と運転マニュアルの改善を実施した。

以上が、自身の手製ポンプ模型と豊富な事例写真を使いながらの卓話の主な内容です。専門的でちょっと硬めのテーマでしたが、わかりやすく、軟らかな説明を興味深く伺うことができ、たいへん有意義に思いました。終了後は、意見交換を行い、各種報告とスマイルで閉会した。



手作り模型ポンプ



★今月の誕生日

齊藤隆廣メン(4日)

沖 明 さん(10日)

★今月の結婚記念日

鮎澤正和・範子夫妻(6日)

金丸満雄・優美子夫妻(10日)



▼第21回会員大会

5月25日(土)13:30~16:00、山手センターにて第21回会員大会が開催されます。会員部運営委員や名誉会員の推挙、各種表彰、東京YMCA全般や能登半島地震被災地支援並びに山中湖センター100周年の報告などがなされます。また、各種表彰の中のVolunteer of the Yearに東陽町コミュニティセンターの「下町こどもダイニングボランティアの皆様」が選ばれました。ボランティアとして参加して下さった皆様はもとより、なかなかご参加いただけなかった皆様も、これを機会に是非ご参加いただき、一緒に祝っていただければと思います。2018年4月よりコロナ禍を経て継続できているのは、一重にボランティアの皆様のお働きがあってのことです。心より感謝いたします。

10月にはこどもダイニングを資金の面からご支援いただいた企業や個人の皆様にこの受賞の喜びと共に感謝の気持ちをお伝えする「感謝会」を開催したいと考えておりますので、こちらにもご参加をよろしくお願いたします。

会員大会へのご参加のお申し込みは会員部及び、沖までお申し付けください。

▼能登半島地震YMCA緊急支援募金

3月末までを第一次募金期限としていましたが、第2次支援募金として4月以降も継続することになりました。3月末までに東京YMCAには8,169,890円の募金が寄せられ、支援スタッフの派遣費用、支援物資の購入などに用いさせていただきました。また、1月半ばから3月末まで東京YMCAが担っていた輪島市町野町の避難所運営支援は、富山YMCAを中心とする全国YMCAの協力体制に引き継がれて継続運営されています。

▼西東京コミュニティセンター閉館

2002年に開設した西東京コミュニティセンター(国立市)が3月末に閉館しました。これまでの働きは、南コミュニティセンターで新年度からはじまる「多文化共生スペースマ(さんかく)」の事業に形を変えて引き継がれます。また一橋大学YMCA学生寮(国立市)のホールをお借りして、引き続き西東京地域で活動を展開します。

▼第2回ウクライナYMCA支援活動報告会

4月16日がオンラインで報告会開催され、日本から約40人、ウクライナYMCAから約20人のスタッフや会員が参加しました。東京YMCAがこれまでに送金したウクライナ支援募金55,000ドルにより、戦争で傷ついた子どもたちの心のケアを目的とするキャンプを実施し、約2,600人が参加したとの報告があり、東京YMCAの支援に対して感謝が示されました。

▼第33回チャリティーゴルフ大会

4月18日にPGM総成ゴルフクラブで開催されたチャリティーゴルフ大会には、23グループ87人に参加いただきました。益金約40万円は、能登半島地震被災地支援、及びフレンドシップファンド(経済的支援が必要な子どものプログラム参加費支援)のために用いさせていただきます。